

はねっと 8

仙台市市民活動サポートセンター通信 ばれっと

“ばれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



協働による活動事例を紹介「ちまたのコラボ」

人とのつながりの中で、生きがいを 忘れずにいられる社会へ

お茶の井ヶ田株式会社



店舗開発部 アグリエの森統括リーダー
いしがき なおや
石垣 直哉さん



店舗開発部 喜久水庵東仙台本店
うめざわ りょうすけ
店長 梅澤 亮祐さん

学生団体ari



左から、代表 おがわ たいすけ 小川 泰佑さん、おのさわ
まことば ひな せんの たかあき 小野澤 さゆりさん、
の場 日菜さん、千野 嵩晃さん

本とお茶で地域の人が集まりつながる「井ヶ田図書館」

仙台市宮城野区小鶴にある、喜久水庵東仙台本店の喫茶スペースで、地域の人のための小さな図書館「井ヶ田図書館」が開かれています。一人で本を読んだり、仲間とおしゃべりしたり、お茶やお菓子を買ってカフェのようにも利用できる場には、親子連れやお年寄りなど様々な人が訪れます。井ヶ田図書館の本は、地域の人におすすめの本を寄付してもらう仕組み。本の感想を書き込んでいく「感想カード」を通じて、読んだ人同士でつながることができます。また、定期的に開催される工作イベントでは、地域の幅広い世代の人との交流を楽しめます。主催しているのは、仙台の地元企業お茶の井ヶ田株式会社



井ヶ田図書館
場所:喜久水庵東仙台本店
喫茶スペース
時間:15時~18時



(以下、井ヶ田)と、学生団体ari(以下、ari)です。地域コミュニティが希薄化する中、職場や家庭など限られた居場所しかない人に気軽に地域へ出てもらい、人との関わりを増やすきっかけにしようとして運営しています。ari代表の小川泰佑さんは、「配偶者に先立たれるなどの理由から家にひとりぼっちで、一日誰とも話さない高齢者も多い。そういった人が社会とつな

がれる場所にしたい」と熱を込めます。井ヶ田の店舗開発部アグリエの森統括リーダー石垣直哉さんも、「お茶はくつろぎや団らんを生み出すもの。井ヶ田図書館でホッとする時間を過ごしてほしい」と話します。



▲感想を書き込んでいける「感想カード」

社会的孤立を防ぐ!企業と学生団体の挑戦

ariは医療系学生のメンバーで構成されています。「過疎地域医療を担いたい」、「海外で医療支援に取り組みたい」など将来の目標は様々ですが、共通しているのは「人の命を救える人になりたい」という強い想いです。しかし、うつ病や、自殺、孤独死、生活状態の悪化など、医療行為だけでは救えない命の問題も多くあります。問題の根底にあるのが、何気ない会話をしたり、悩みを相談したりできる人がいない社会的孤立です。「人とのつながりがないと、誰でも自分の価値や生きる意味を見失うことがある。つながりなら、自分たちに

もつくれるはず」と2021年8月から活動を開始。見えない孤立のSOSを見つけようと、公園や駅前など地域の身近な場所へ出向き、手作り屋台でカフェを開いたり、ゴミ拾いやラジオ体操をしたりしながら、明るく挨拶や声かけを行ってきました。メンバーの小野澤さゆりさんは、活動で出会った小学生が自分と話すことでとても楽しそう帰っていったことが印象に残っています。「私もうれしかったし、元気になれた。人と関わることで芽生える温かい気持ちが連鎖していったほしい」と話します。

一方、井ヶ田は多様化する生活様式の中で、急須で淹れるお茶だけでなく、お茶を使ったお菓子などの商品開発にも取り組んできた企業です。お茶文化を未来につなげようと、自社事業と地域での社会貢献活動を結び付ける方法を模索していた際にエントリーしたのが、「仙台若者アワード2021※」の協働部門でした。井ヶ田は「お茶の時間」をきっかけに生まれる「安らぎ」や「語らい」を活用した、孤立を防ぐ活動の連携先を募集。課題意識を同じくするariが手を挙げ、2022年1月に井ヶ田図書館が実現しました。

※地域の課題解決に寄与する若者の優れた活動を表彰・伴走支援する取り組み。

共に作用し合いながら、地域を見つめる

「次々にアイデアを出すariの熱意に、刺激を受けている」と話すのは、喜久水庵東仙台本店店長の梅澤亮祐さんです。入社6年目の梅澤さんにとって、地域に目を向け、社外の多様な人と接する経験が、広い視野を持つための学びになっています。ariは、これまでよりさらに地域に根差した活動ができる拠点を得ました。井ヶ田図書館の利用者は少しずつ増え、地域の人に親しまれてきています。目指すは、ゆるくつながることで支え合える社会です。



▲井ヶ田図書館で地域の人とつくった、桜のハンドスタンプアート

学生団体
ari

Facebook▶



お茶の井ヶ田
株式会社

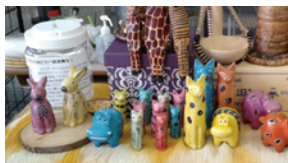
HP▶



活動を始める一歩を応援「コトハジメ」

アフリカ雑貨から元気をもらって、アフリカの人たちに笑顔届けよう

パッと目をひく、色鮮やかな布を使ったポーチやバッグ。牛の角を使ったアクセサリー。シマウマやペリカンなど、アフリカにいる動物の人形。オーガニックのコーヒーや紅茶。アフリカ生まれの雑貨が並ぶブースを出店するのは、NPO法人アマニ・ヤ・アフリカです。市内各地のイベントなどでアフリカの人たちの手作りフェアトレード品を販売しています。売り上げは、スラムの子どもたちの給食支援や学校支援など、ケニアの人たちの支援に使われます。まずはちょっと覗いてみませんか。



アマニ・ヤ・アフリカ
アフリカンウィークVol.20
暑い夏はアフリカの季節!
真夏のアフリカ雑貨市 2022

会場 みやぎNPOプラザ1F
開催期間 8月2日～10日(7・8日は休み)
営業時間 11:00～16:30(最終日は15:30まで)

その他、出店情報は
団体Facebookをチェック
NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。
「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を支援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 8月10日(水)、24日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者: 特定非営利活動法人

せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2022年8月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

